

首都大学東京における Sakai の導入

首都大学東京 学術情報基盤センター 助教 畠山 久

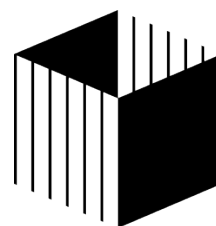
目次

- 首都大版 Sakai “kibaco”
- Sakai が選ばれるまで
- システム機能面の準備
- サポート面の準備
- まとめ

首都大版Sakai “kibaco”

kibaco

- 首都大学東京における全学標準eラーニングシステム
 - Sakai 2.7.1 がベース
 - 2015年2月26日サービスイン



k i b a c o

- 全ての学生・教職員が利用できる
 - 原則として学内共通認証を利用
- 全ての正課科目で利用できる
 - 学務システムの情報を反映し，全科目に対応するサイトを作成
 - 履修情報に基づきサイトへのレールムを追加

Sakai が選ばれるまで

全学標準eラーニングシステム

- 2010年～ : Blackboard
 - 当時の世界シェア No.1
 - 2007年度より一部授業で試験導入



- 2015年～ : kibaco (Sakai)
 - Sakai 2.7.1
 - 全ての正課に対応するサイトを作成

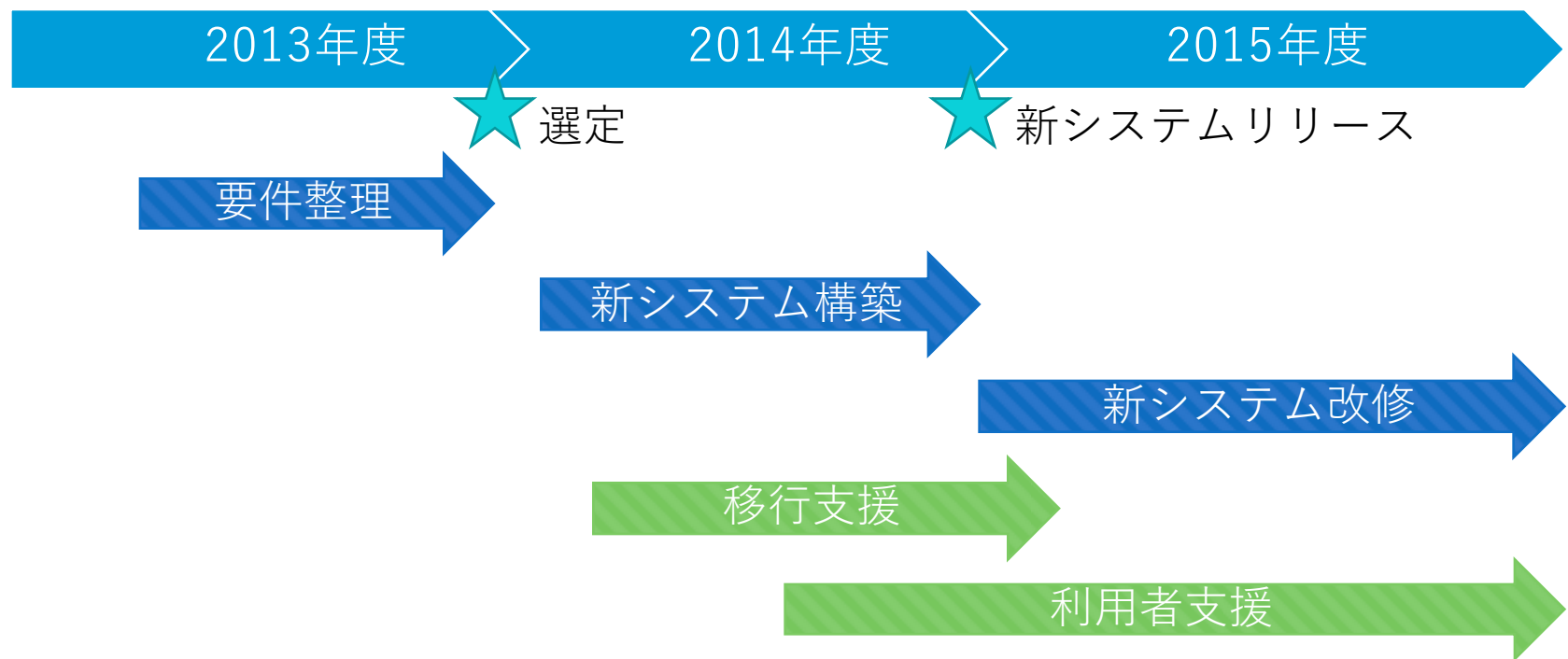


移行の背景

- 商用LMSを利用する上での課題
 - ランニングコスト（ライセンス費用）
 - 機能改修の難しさ
- カスタマイズしやすいこと
- ライセンス料を抑えられること
- 学内要望
 - 学内システムとの連携

移行までのスケジュール

○ 2013年度より移行に向けた準備を開始



学内意見の集約

- 2013年秋に学生・教員を対象にアンケートを実施
- システム機能面・サポート面の両側面から意見をいただいた

システム機能面

操作性

インターフェイス

実態に即した機能・表記

学内他システムとの連携

モバイル対応

サポート面

マニュアル整備

利用事例の共有

操作の習熟度向上

要件整理

- 課題と学内意見を踏まえて要件を整理
 - 直感的に利用できるユーザインターフェース
 - 教務システムとの連携
 - 統合認証の利用
 - システム導入・運用の費用削減
- 学内標準として利用する上での性能要件を定義
 - 同時接続 500人ほどが安定して利用できる必要がある

これらを実現できるeラーニングシステムを選定



選定の結果、Sakai をベースとしたシステムに決定

システム機能面の準備

新システムの構築

- 新eラーニングシステム構築プロジェクト
 - 2014年7月～2015年3月（9ヶ月）
- システム開発・構築は外部委託
 - 前述の要件を整理した仕様書に基づき作業
- 隔週で定例ミーティングを実施
 - 情報メディア教育支援部門が大学側のフロントを担当（教員2名，事務3名）
 - 大学の利用実態を踏まえて詳細仕様を調整

用語の整理

- 用語の整理

- 学内用語に合わせることで利用者にわかるように
例)

- サイト → 授業

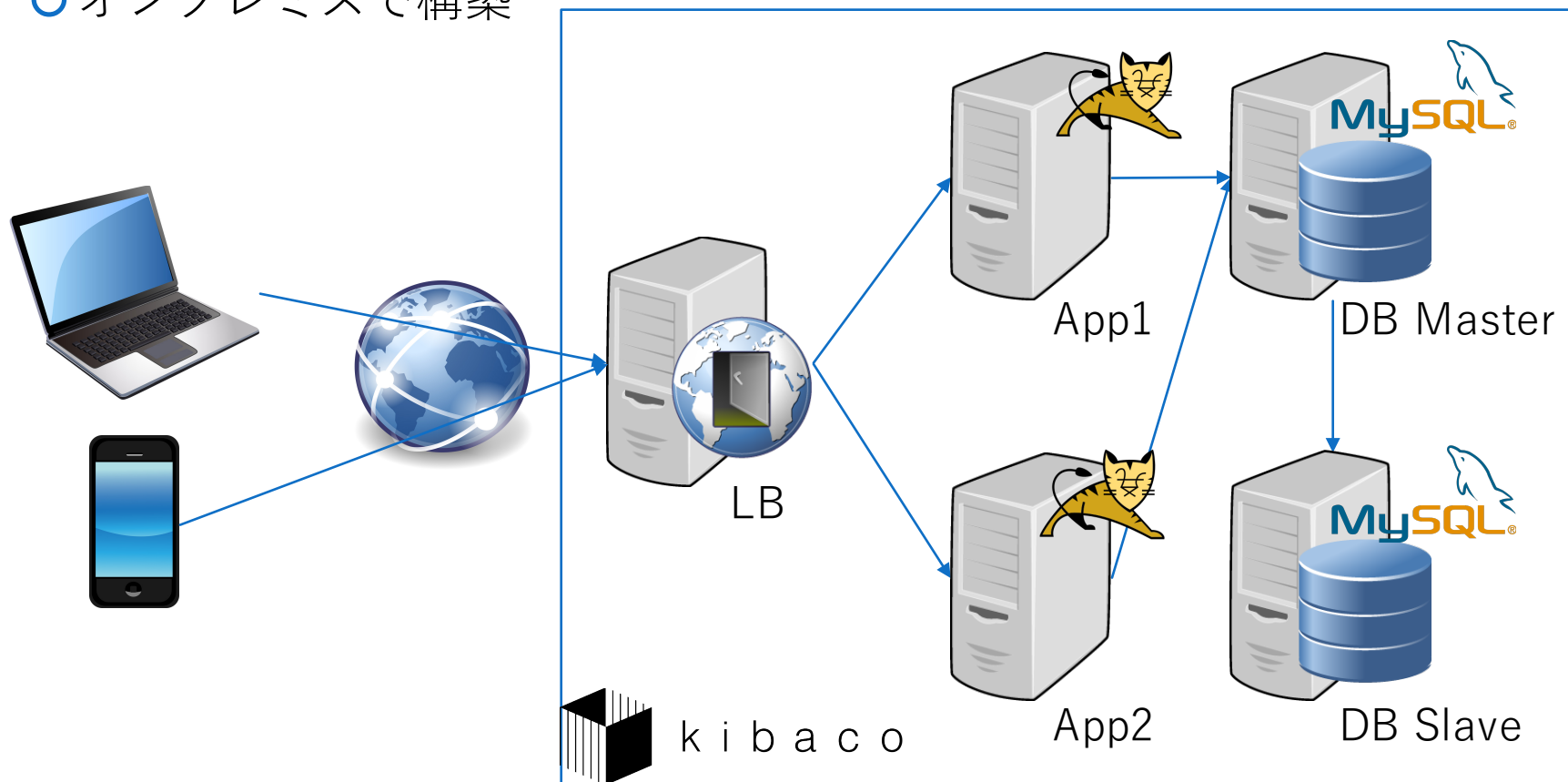
- リソース → 資料

- 日本語として自然に分かるものとする

- 一方でオリジナルとの差異がでてしまう

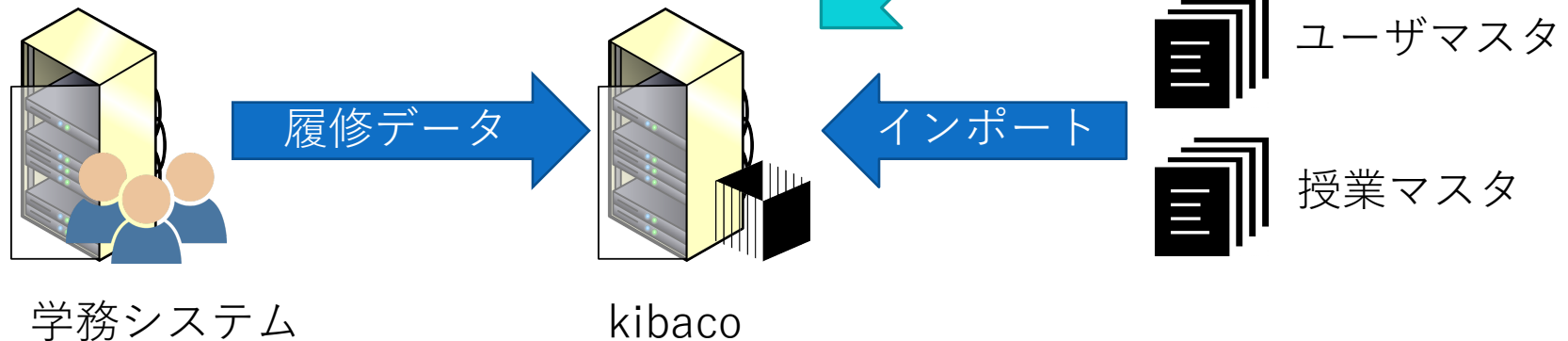
システム構成

○ オンプレミスで構築



学内システムとの連携

- 学務システムの履修データに基づきレーム設定
- 統合認証システムでログイン認証
- マスターデータは事前にインポート
 - ユーザマスター
 - 授業マスター

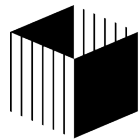


サポート面の準備

ブランディング

○ 認知度向上のため新eラーニングシステムの愛称・ロゴを公募

愛称・ロゴ



k i b a c o



大学をイメージした
フッター

マイページ | 情報リテラシー実践II | 情報リテラシー実践II | tutor連絡 | - 検索 -

ホーム | ユーザー情報 | 授業一覧 | 資料 | お知らせ | 画面設定 | アカウント

利用ガイド | 首都大学東京 | 学術情報基盤センター | TMLINER | eラーニング | 総合案内 | お問い合わせ先 | 学術情報基盤センター事務局 | 情報メディア教育支援係 | e-learning-mi@ml.tmu.ac.jp

現在のユーザ: 轟山久

時間割

	日	月	火	水	木	金	土
1							
2				情報リテラシー実践II			
3		情報リテラシー実践II					
4							
5							
6							
7							

授業関係のお知らせ

お知らせ (最近 30 日間のお知らせです)

現在のお知らせはありません。

大学からのお知らせ

オプション

【首都大学東京 Kibacoシンポジウム・Ja Sakaiカンファレンス2016を開催します】

日時 2016年3月1日(火) 13:30 - 18:00
会場 首都大学東京 南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室
参加費 無料(要事前申し込み)

詳細・参加申し込みは以下のURLをご参照ください。
<http://www.com.tmu.ac.jp/e-learning/news/information/001636.html>

【履修申請情報の自動反映機能の停止について】

2015年度後期から、事務情報システム(Campus Square)とkibacoとが連携し、Campus Square上で行った履修申請・登録情報がkibacoへ自動で反映されるようになりましたが、履修申請期間終了から一定の期間が経過しましたので、12月10日(木)を以って、Campus Squareとkibacoの自動連携を停止いたします。

自動連携停止後、kibaco上で授業コースから削除された受講生は、Campus Square上に履修者情報が残っていても、kibaco上の授業コースに再登録されません。

課題一覧

この場所には課題が現在ありません。

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

お問い合わせ先：首都大学東京管理学部学術情報基盤センター事務局
情報メディア教育支援係 e-learning-mi@ml.tmu.ac.jp

Powered by Sakai

ドキュメント等の整備

- マニュアルの作成
- システム構築と並行して準備
- 案内サイトの整備
- ニュースレターの発行



お知らせ

- 2016年2月3日** 首都大学東京・Ja Sakai コミュニティ・Aperero 財団のeラーニングシンポジウム&カンファレンスを開催します
首都大学東京学術情報基盤センターは、首都大学東京のeラーニングシステム「kibaco」についてのシンポジウムとkibacoのベースとなっている「Sakai」についてのカンファレンスを、Ja Sakai コミュニティ（国内Sakaiコミュニティ）、米Aperero財団（Sakai開発プロジェクトを支援する非営利団体）と開催します。
- 2015年10月1日** kibacoをバージョンアップしました
利用された方のご意見を参考に機能追加を行いました。
- 2015年2月4日** 新システムの操作説明会を開催します
この暮より、新しいeラーニングシステム「kibaco」が運用開始となります。これに合わせて実際にパソコンを使用している操作説明会を開催いたします。授業等で利用を検討されている先生方は是非ご参加ください。

○ お知らせの一覧

首都大学東京 学術情報基盤センター 情報メディア教育支援部門 182-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 南大沢キャンパス内	初めての方へ 利用ガイド マニュアル FAQ ニュースレター	ニュース お知らせ メンテナンス情報 お問い合わせ	関連リンク 首都大学東京 学術情報基盤センター TAUNER
---	--	------------------------------------	---

© Copyright 2015 Tokyo Metropolitan University.

A screenshot of the kibaco newsletter page. The header features the 'e-learning ニュース' logo. The main content is titled '新eラーニングシステムの愛称・ロゴ決定！！' and discusses the selection of 'kibaco' as the name for the new system. It includes details about the selection process, the logo design, and the upcoming implementation. The page is divided into sections for '愛称・ロゴ募集 選考結果' and '教員向け説明会の実施'.

説明会の実施

- リアルな”場”としての説明会を実施
- 新システムへの移行に向けた説明会
 - 教員向けとして計3回実施（7月～9月）
 - 各キャンパス + TV会議システムでの中継
- 操作説明会
 - 教員向け 2回，情報教育授業補助員向け 1回実施（3月）
 - PC教室でのハンズオン形式

まとめ

学内意見への対応

- kibaco への移行と共に意見を踏まえた対応を実施
 - 引き続き検討を続ける項目も存在

システム機能面

操作性

インターフェイス

実態に即した機能・表記

学内他システムとの連携

モバイル対応

サポート面

マニュアル整備

利用事例の共有

操作の習熟度向上

まとめ

- 学内要望を踏まえて商用LMSからSakaiベースのシステムに移行
 - 2015年2月より本番稼働を開始
- 学内システムとの連携により全学でスムーズな利用が可能
 - 正課授業ですぐに導入できるよう準備

今後の課題

- 大学側フロントとしての私見を整理
- 継続的な意見集約と改善
- 国際化対応
- 環境の変化
 - リッチコンテンツ（動画等）の普及
 - 学習環境の変化（スマホ・タブレット）
- さらなる将来を見据えたアップグレード等の施策
 - 学習の資料・記録をストックしつづける“木箱”となるため